

# 民主化闘争情報

No. 1011

2018年10月22日

発行 日本鉄道労働組合連合会

(JR連合)

10月16日、JR連合加盟の貨物鉄産労・東海地区本部が、九州地区本部に続いて、JR総連・日貨労から脱退した仲間1名を新たに迎え入れた。九州地区本部での2ヶ月連続加入に続く今回の東海地区本部での加入は、JR東労組の組織瓦解を受けて動揺が広がっているJR総連傘下の日貨労を更に大きく揺さぶることとなるだろう。

## 貨物鉄産労・九州に続き、今度は東海で1名を組織拡大 勇気ある決断、続々と貨物鉄産労へ

### JR東労組の組織瓦解の大きな流れをJR貨物にも波及させる！

日貨労は、JR東日本の労政転換を目の当たりにして、その態度を一変させ、めっきり大人しくなっていると聞く。JR連合は、JR東労組の組織瓦解の動きをJR貨物やJR北海道にも波及させ、組織の強化・拡大と民主化を図るべく、10月10日、東京都内にて「JR産業の発展にむけ民主的労働組合・労使関係を築く総決起集会」を開催した。JR貨物には、いまだ窮屈な思いをして、中には苦しみながら働く良識ある仲間たちが多くいる。過去にあったような執拗な嫌がらせなどを表立って出来ない今こそ、一刻も早く彼らを組織脱退させ、JR連合・貨物鉄産労が救済すべくJR貨物の民主化を前進させなければならない。

### 建設的ではなく不健全な「労使関係」では、 働く仲間や会社の将来を真剣に考えることはできない

長時間労働の是正、ワークライフバランスの実現や、育児・介護・治療と仕事の両立、高年齢者雇用のあり方など、働き方の見直しが急ピッチで行われようとしている。さらには、AI、IoTによる働く環境の変化にも労働組合として対応していくことが求められている。一方で、北海道新幹線・青函トンネル共用走行の問題をはじめとする政策課題によって、近い将来、JR貨物を取り巻く経営環境はまちがもなく大きく変化するだろう。これを乗り切るためにも、会社と敵対するためのイデオロギーを優先するような労働組合ではなく、組合員とその家族のため、会社の将来を真剣に考える、自由で民主的なJR連合・貨物鉄産労に結集しよう！

**JR貨物会社の真のパートナーはJR連合・貨物鉄産労である！**